**わいわい市民センター（事例紹介）**

**西戸畑市民センター**

**〇実施内容**

①キッズ将棋

幼児・小学生とその保護者を対象に、第２土曜日に学習室にて開催

②ニュースポーツ体験

小学生を対象に、第３土曜日に講堂にて開催

　③自由解放

目的ごとに、各スペースを開放（毎週月曜日～金曜日　21:00まで）

**〇実施にあたっての工夫点**

　①昼のクラブ活動と夜のクラブ活動の間の隙間時間と場所を活用

　②中学生の部活動の練習場所として空き部屋を利活用

**〇わいわい市民センター事業による効果**

①市民ホールの利用者が増加し、普段接点のない方々の関係が形成され、大人からこどもたちへの地域イベントの勧誘がしやすくなった。

②昨年まで小学生だったこどもが、中学生になっても宿題や部活動の練習、マルシェで物品販売するための作品製作等を目的に継続的に利用中。

そこから小学生と中学生のつながりが生まれ、一緒に宿題をする様子を見る機会が増加した。

**大谷市民センター**

**〇実施内容**

館長が講師となり、受験指導を行う（毎週金曜日　16:00～17:30）

**〇実施にあたっての工夫点**

①中学生はホームページ・学校通信等で広く募集

　　②教育委員会が推進しているひまわり塾と連携をとっている

　　③保護者・中学校との連携を図り、月に１度、中学校へ情報提供している。

**〇わいわい市民センター事業による効果**

　　①継続的な学習支援を行うことで学習成果が出ているほか、中学校管理職の参加により、生徒の学習意欲・進学意欲の向上も見られる。

　　②市民センターの全体的な利用者が増加した。

**中原市民センター**

**〇実施内容**

自由活動の場として市民ホールを開放

（毎週月曜日～土曜日15:00～19:00）

**〇実施にあたっての工夫点**

①市民センターの館報等で広報

　②昔遊びの将棋や、SDGsを題材としたすごろくで遊んでもらう

**〇わいわい市民センター事業による効果**

　　①児童が自由に伸び伸びと勉強や遊びに利用している。

　　②市民センターの全体的な利用者が増加した。

**一枝市民センター**

**〇実施内容**

①七夕かざり作り（７月）

②人権学習「人権キャラクターの工作」（９月）

　③「黒ひげ危機一髪」ゲーム（１０月）

**〇実施にあたっての工夫点**

　①七夕かざり作りは、季節の行事と抱き合わせることで参加しやすくした。

　②人権学習週間に合わせ、人権キャラクターの工作と人権のDVDを流した。

　③簡単なゲームを開催し、季節のイベントも取り入れた。

**〇わいわい市民センター事業による効果**

　①日頃来館しない児童が参加し、利用者数が増加した。

　②季節や行事を身近に感じた

　③こどもに馴染みのあるゲームを実施することで、こどもと密なコミュニ　ケーションをとることができた。